

私の本棚

▶「宇宙はなぜ美しいのか」
(村山斉著、幻冬舎)

「遠くの星を見るほど過去を見ている」ことから、望遠鏡の性能が向上した今では「134億年前の銀河の観察が可能」だと言います。ビッグバンが138億年前ですから、極めて初期の宇宙が観察できるわけです。

このような、途方もないスケールの話が次々と展開する本書



アクサ生命保険社長

安淵 聖司氏

は宇宙研究の可能性を改めて分かりやすく伝えてくれます。それを著者は「宇宙はなぜ美しいのか」という問いに託しています。まず、様々な宇宙の様子がカラー図版で紹介され、さらに、宇宙に関する動画へのリンクも用意されています。

続いて、アインシュタインなどの偉大な物理学者が、自然界を説明する理論に求める「美しさの秘密」が語られます。キーワードは「対称性」「簡潔さ」「理論の安定感」です。宇宙の対称性では、宇宙がほぼ一様で、ほぼ等方向であることが分かっているそうです。

一方で、まだまだ多くの「分からないこと」があります。銀河系を作る源となった「暗黒物質」は正体不明ですし、宇宙の膨張がなぜ加速しているのかも大きな謎です。だからこそ宇宙研究という知の旅は続き、素晴らしい新世界を私たちにもたらしてくれると期待しています。